

受傷等チェックリスト
(動物による咬傷事故)

- 加害動物の所有者（飼い主）と事故当時の占有者（引率者）は誰ですか？
占有者が所有者と相違する場合、その関係は？（家族の場合は続柄）

	所有者（動物の飼い主）	占有者（動物の引率者）
住所		
氏名		
職業		
電話番号		
その他		(所有者との関係)

- その事故は、被害者がどのような場所で、どのようなことをしたときに起きたのですか？

【場所】 _____

【被害者の行為など】 _____

- 被害者がその動物に近付いたのは、なぜですか？

【理由】 _____

- 事故が起きたとき、飼い主や引率者はどのような行動を取った（取らなかった）のですか？

- 飼い主がその動物を普段どのように飼育等していたかお聞きしていますか？

- 事故が起きたとき、飼い主や引率者に、どのような注意義務があったとお考えですか？

- 飼い主や引率者は、事故防止のため、どのようなことをすべきだったと思いますか？

参考事項（動物が「犬」の場合）

【犬の種類】 _____

【犬の体重など】 約 _____ kg または (大型犬, 小型犬)

【犬の年齢】 生後 約 _____ 歳 不明

【普段の飼育状況など】

鎖や捕縄で (場所) _____ に繋いでいた。

捕縄なしで _____ の中で飼育していた。

その他 _____

【事故が起きたときの飼育状況など】 _____

【その犬に近付く者への注意喚起の表示など】

表示があった 表示は無かった

(以前にも咬みついたことがある 普段でも凶暴性がある)

※犬のサイズ（参考基準）

小型犬：トイ・プードル、パピヨン、チワワ、ポメラニアン、マルチーズ、スピッツ

ミニチュア・ダックスフンド・ヨークシャー・テリア、キャバリア

中型犬：柴犬、フレンチ・ブルドッグ・ボーダー・コリー、ボストン・テリア、ビーグル

大型犬：ゴールデン・レトリバー、セントバーナード、ブルドッグ、ボクサー、ドーベルマン、シベリアン・ハスキー

（個体差がある場合もあります。）